

信州大学

令和7年度学生募集要項 工学部 第3年次編入学

【推薦選抜】【一般選抜】

物質化学科
電子情報システム工学科
水環境・土木工学科
機械システム工学科
建築学科



SHINSHU UNIVERSITY

所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、志願者への緊急の連絡が必要となった場合は、ホームページでお知らせします。

信州大学工学部ホームページ

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/undergraduate/#sec2>



入学者選抜日程の概要 推薦選抜・一般選抜【共通】

出願期間	令和6年5月13日（月）～5月17日（金）（必着） ※インターネット出願システムへは5月6日（月）から事前登録可能。
選抜期日	令和6年6月7日（金）
合格発表	令和6年6月25日（火）14時
入学確約書提出期限	令和6年7月9日（火）17時（必着）
入学手続期間	令和7年3月3日（月）～3月10日（月）17時（必着）

※推薦選抜と一般選抜への重複出願はできません。

目次

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 第3年次編入学の趣旨と注意点	2
3. 募集人員	3
4. 出願資格	3
5. 出願手続	4
6. 選抜方法等	7
7. 試験日時及び試験場	8
8. 受験に当たっての主な注意事項	9
9. 合格発表	10
10. 入学確約書の提出	10
11. 入学手続	10
12. 追加合格	11
13. 編入学前の既修得単位の認定等	11
14. 障害等のある方の事前相談	11
15. 個人情報の利用	12
16. 入試情報の開示	12
17. 工学部第3年次編入学試験実施状況	13
18. インターネット出願について	13

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

詳細は、次の URL に掲載されているものをご確認ください。（入試情報ポータル／入学者受入れの方針
https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/policy/index.html）

工学部「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）

信州大学工学部は、豊かな教養と工学の幅広い専門知識を持ち、科学技術と環境保全との調和に深く関心を持って、社会の様々な課題を発見・解決できる工学系高度専門職業人の養成を目標にしています。そのため本学部では次のような素養を備えた学生を求めています。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	大学入学前の高等学校の課程等を幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけている	○	○	
2.	工学の基礎となる高等学校等で学ぶ数学、理科、外国語に優れている	○	○	
3.	科学や技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について学ぶことに強い意欲を持つとともに学ぶために必要な論理的思考力・判断力・表現力の素養を持っている		○	○
4.	向上心があり、自らの目標を定め、積極的に学ぼうと努力する			○
5.	工学に関わる技術者、研究者として社会をリードしようとする意欲があり、その技術と知識をもって社会に貢献する明確な目的意識を持っている			○

《大学入学までに履修すべき教科・科目など》

各高等学校等が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望めます。特に、工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学、理科、英語に関しては、下記の科目の内容を理解し、身につけておくことが望めます。

数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B
理 科	物理基礎、物理、化学基礎、化学
英 語	十分な読解力、表現力、会話能力

●物質化学科の求める学生像

- 1 化学と科学技術に興味があり、それらに関わることに喜びを感じる人
- 2 化学の専門知識・技術を活用して社会に貢献したいと願う人
- 3 自分で目標を立て、それに向かって計画的かつ継続的に取り組める人
- 4 情報発信や収集に必要な国語や英語の言語力を有する人
- 5 様々な考え方を理解し、主体的かつ協調的に勉学や研究を進められる人

●電子情報システム工学科の求める学生像

- 1 電気電子、情報、通信の各分野において、将来、技術を社会のために役立てたいと思っており、その目標に向かって行動できる人
- 2 これら3分野の先端研究に興味を覚え、自分でもやってみたいという意欲を持っている人
- 3 プログラミングや電子工作が好きな人
- 4 電子機器やプログラムのしくみ・動作に興味がある人
- 5 コンピュータの基礎から応用までを学びたい人
- 6 コンピュータのソフトウェア、ハードウェアに興味がある人
- 7 向上心があり、自ら考え、自ら行動することができる人

●水環境・土木工学科の求める学生像

- 1 持続可能で健全な水資源の確保と保全および管理・利用に貢献したい人
- 2 水再生・造水技術に興味がある人
- 3 水環境問題や自然との共生に関心があり、学ぶ意欲のある人
- 4 安全・安心で快適な施設・環境・まちづくりに興味がある人
- 5 環境問題の解明や修復技術、防災・減災に関心があり、学ぶ意欲のある人
- 6 将来、社会と地域の発展のために貢献したい人

●機械システム工学科の求める学生像

- 1 科学技術、工学、ものづくり、環境科学に対する情熱を常に失わず、実験や実習、講義、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- 2 技術者、研究者として社会をリードするとともに、その技術と知識をもって社会に貢献したいという強い意欲を持つ人
- 3 科学技術・工学の発展が社会にもたらすメリットとデメリットを十分に理解し、社会および自然環境に配慮した「人にやさしいものづくり」を目指す人
- 4 優れた技術力・知識を生かして、日本国内のみならず、国際的なフィールドでその能力を発揮できる技術者・研究者を目指す人

●建築学科の求める学生像

- 1 学ぶ意欲と根気があり、試行錯誤をいとわない人
- 2 人の考えをふまえ、自分の考えを表現することを好む人
- 3 環境の保全に関心がある人
- 4 美しい事物への探求心がある人
- 5 自然科学系科目を十分に理解し、人文・社会系科目を苦手とせず、幅広い視野と開かれた感受性をもつ人

2. 第3年次編入学の趣旨と注意点

大学初年次に相応する基礎科目を、異なる教育環境で過ごしてきた学生を受け入れるために行います。そのことにより、在学生への知的刺激が生まれることも期待しています。第3年次編入学では、高等専門学校、短期大学、他大学等からの学生を受け入れています。

- (1) 志望学科は、出身学校において専攻した学科と同系統であることを原則とします。((2)に関連する。)ただし、水環境・土木工学科を志望する場合は、出身学科が同系統である必要はありません。

なお、信州大学工学部の学生が出願する場合は、現在在学中の学科には出願することができません。(改組前の学科に所属の学生は、信州大学工学部入試事務室にお問い合わせください。)

- (2) 編入学が許可された場合は、令和7年4月に第3年次へ編入となります。ただし、出身学校での履修状況によっては、卒業までに要する期間が2年を超える場合もあります。

※ 出身学校で修得した単位の認定は、翌年3月に提出していただく「出身学校の成績証明書」及び「シラバス(授業内容)」に基づいて行います。出身学校で修得した単位がすべて認定されるとは限りません。例えば、出身学科と合格学科が同系統ではない場合などは、認定単位が少なく、2年間で卒業できない可能性が高まります。

《出身学校で修得した単位の認定スケジュール》

令和7年2月中旬 信州大学から入学手続関係書類(詳細通知)を送付

令和7年3月中旬 出身学校の成績証明書及びシラバス提出期限

令和7年3月下旬～4月初め 信州大学で単位認定審査

令和7年4月上旬 単位認定結果通知交付

※ 日程は変更になる可能性があります。入学手続関係書類の通知に従ってください。

(3) 出身学校での履修状況により、卒業要件に不足する科目がある場合は、信州大学全学教育センター（松本市）へ出向いて受講（1年生対象科目）することが必要となる場合もあります。

※ 例えば、専修学校出身者や、高等学校から高等専門学校に編入学した方などは、大学1年次履修対象の基礎科目の単位（外国語や教養科目等）を修得していない場合があり、松本市への通学が必要になるとともに、2年間で卒業できない可能性が高まります。

また、信州大学工学部では、3年次終了時に4年次への進級関門を設けています。

3. 募集人員

学 科	選抜区分		募集人員 ^{※1}
	推薦選抜 (一般枠・女子枠)	一般選抜	
物質化学科	○	○	20人 (10人 ^{※2})
電子情報システム工学科	○	○	
水環境・土木工学科	○	○	
機械システム工学科	○	○	
建築学科	○	○	

※1 推薦選抜と一般選抜を合わせて20人を募集します。

※2 推薦選抜（女子枠）の募集人員の目安は10人とします。

過去の合格者数等については、13ページの「17. 工学部第3年次編入学試験実施状況」を参照してください。信州大学工学部ホームページ「入試情報」には、より詳細な過去の実施状況を掲載しています。

女子枠設置のねらい

日本における理系の女子学生の比率は、他国に比べて極めて低いことが OECD（経済協力開発機構）の調査からも明らかとなっています。現状、高校進学後の女子生徒の進路選択においては、理系進路の選択が敬遠される傾向にあり、この状況を改善するためには、初等及び中等教育からのマインド醸成が欠かせないと考えられます。

そこで、小中学生からの早期の段階で理系を目指す環境を作り、高等専門学校に進学する女子生徒を増加させ、高等専門学校から大学に3年次から進学する女子学生の受け皿を確保することを目的として、令和7年度入試から第3年次編入学試験推薦選抜に「女子枠」を設定することといたしました。

本学部においては、学生寮を一部改修し女子学生専用フロアを設けるなどの環境整備を行っており、将来技術系分野で活躍する能力を持った多様な人材を育成するための取組みを促進していきます。理系分野での活躍を志す多くの高専女子学生による、本学部への積極的な出願を期待しています。

4. 出願資格

入学者の選抜は、「推薦選抜」と「一般選抜」の2つの方法で行います。出願期間・試験日は、「推薦選抜」、「一般選抜」ともに同じです。「推薦選抜」と「一般選抜」への重複出願はできません。

「推薦選抜」には一般枠と女子枠の2つの枠を設けます。「一般枠」には、性別によらずに出願できます。「女子枠」には、性別が「女性」である者が出願できます。女子枠に出願を行った場合、女子枠と一般枠を併願したこととして扱います。なお、併願して受験した者が合格者となる場合、いずれか一つの枠での合格となります。

それぞれの選抜の出願資格は次のとおりです。

(1) 推薦選抜（一般枠・女子枠）

高等専門学校を令和7年3月までに卒業見込みの方で、出身学校長が優れていると認め責任を持って推薦し、合格した場合に入学することを確約できる方。

女子枠については、これに加え、性別が「女性」であることを出願資格とします。

なお、学校長が本学部推薦できる人数に制限はありません。

また、学業成績に関する推薦基準の目安については、下表のとおりとします。

学科	推薦基準の目安
機械システム工学科	成績の順位が上位30%以内
水環境・土木工学科	成績の順位が上位50%以内
物質化学科 電子情報システム工学科 建築学科	目安は設けていません。

(2) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する方。

- ① 高等専門学校又は短期大学を卒業した方（令和7年3月までに卒業見込みの方を含む。）
 - ② 外国の短期大学を卒業した方及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した方（学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項）(令和7年3月までに卒業見込み又は修了見込みの方を含む。)
 - ③ 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した方（令和7年3月までに修了見込みの方を含む。)
 - ④ 専修学校の専門課程を修了した方で、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる方（令和7年3月までに修了見込みの方を含む。)
 - ⑤ 大学（修業年限4年以上。以下同じ。）を卒業した方（令和7年3月までに卒業見込みの方を含む。)
 - ⑥ 学校教育法第104条第7項第2号の規定により学士の学位を授与された方（令和7年3月までに授与される見込みの方を含む。)
 - ⑦ 日本の大学において2年以上（休学期間を除く。）在学し、62単位以上を修得した方、又は、令和7年3月までに修得見込みの方（令和7年3月末に2年以上在学となる方を含む。)
 - ⑧ 高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科又は特別支援学校の専攻科の課程を修了した方で、学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる方（令和7年3月までに修了見込みの方を含む。)
 - ⑨ 文部科学省関係構造改革特別区域法施行規則（平成15年文部科学省令第17号）第7条第2項に定める職業能力開発短期大学校（長野県地域中核人材育成特区内に所在するものに限る）において行う特定高度職業訓練を修了した方（令和7年3月までに修了見込みの方を含む。)
- (注) 出願資格③により出願しようとする方は、資格審査を行うので令和6年4月18日（木）までに信州大学工学部入試事務室に必ず問い合わせてください。

5. 出願手続

(1) 出願期間及び提出先・問い合わせ先

【出願期間】 令和6年5月13日（月）～5月17日（金）（17時必着）

【提出先・問い合わせ先】 信州大学工学部入試事務室

〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1

Tel. 026-269-5055

※インターネット出願登録サイトへの事前登録及び検定料の支払いは5月6日（月）から可能です。

※インターネット出願登録サイトへの登録だけでは出願手続は完了しません。出願期間内に必要書類を郵送又は持参することで完了します。

(2) 出願方法

以下の①から③までの手続を行ってください。

① インターネットによる出願情報の登録（顔写真のアップロードを含む。）

※ インターネット出願の詳細については、13 ページからの「18. インターネット出願について」を参照してください。

② 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円

※ 入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は志願者負担となります。

支払期間：令和6年5月6日（月）～5月17日（金）

（注1）支払期限は、申込日を含め4日間です。（締切が4日より短い場合、締切が優先されます。）

（注2）支払方法の詳細については、16 ページの「18. インターネット出願について（Step5 入学検定料の支払い）」を参照してください。

※ 国費外国人留学生は入学検定料の支払いが不要のため、国費外国人留学生証明書を提出してください。（「(3) 出願書類等」を参照）

③ 出願書類の提出（郵送）

出願確認票をインターネット出願登録サイトから印刷し、調査書等の出願書類（「(3) 出願書類等」を参照）とともに市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に入れます。その封筒に出願登録サイトから印刷した宛名シートを貼り付け、**簡易書留速達郵便**で郵送してください。

(3) 出願書類等（"○"…全員提出、"△"…該当者のみ提出、"—"…提出不要）

入学志願者は、次の書類等を取り揃えて出願期間内に提出してください。

① インターネット出願登録後、マイページから印刷する書類等

※ 印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。

	出願書類等	推薦	一般	摘 要
1	出願確認票	○	○	A4 サイズの用紙に印刷してください。（白黒印刷可）
2	宛名シート	○	○	印刷したものを市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、出願書類等を入れてください。

② 出願登録サイトでアップロードが必要なもの（郵送による提出不要）

	出願書類等	推薦	一般	摘 要
3	写 真	○	○	写真データ（ファイル形式（jpeg、jpg、png、bmp）、データ容量10MBまで）を用意してください。 出願登録サイトで、志願者本人の顔写真（出願3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景無しのもの）のアップロードを行ってください。 不鮮明なもの、背景が暗いもの、画像に加工を施しているもの等は使用できません。

③ 志願者が準備する書類等

★印は日本語又は英語以外で作成された書類は、日本語訳（又は英語訳）を添付してください。

	出願書類等	推薦	一般	摘 要
4	★調査書又は成績証明書 （ <u>厳封</u> ） ※調査書は、出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成すること。	○	○	<u>高等専門学校を卒業見込みの方</u> 、 <u>短期大学を卒業見込みの方</u> 、 <u>専修学校を修了（見込み）の方</u> 、 <u>高等学校等の専攻科の課程を修了（見込み）の方</u> →調査書を提出してください。学校に書式がない場合は、成績証明書を提出してください。

4	★調査書又は成績証明書 (<u>厳封</u>) ※調査書は、出身学校長が 文部科学省の定めた様式 により作成すること。	○	○	<u>高等専門学校、短期大学、大学を卒業の方</u> →成績証明書又は調査書を提出してください。 <u>大学在学中の方</u> →成績証明書及び単位修得見込証明書又は履修証明書（令和 7年3月までに62単位以上を修得可能であることが確認 できるもの） <u>出願資格⑥又は⑨の方</u> →関連する成績証明書（見込みの方は履修証明書等）
5	★卒業（見込）証明書 (在学期間証明書)	—	○	<u>出願資格⑥の方</u> →学位授与証明書又は学位授与見込証明書 <u>出願資格⑦の方</u> →在学期間証明書（信州大学工学部ホームページから所定の 様式をダウンロードし使用してください。）
6	出願資格証明書	—	△	<u>出願資格④又は⑧の方</u> →修了する（した）課程が、文部科学大臣の定める基準を満 たすものであることについて出身学校が発行する証明書 <u>出願資格⑨により出願する方</u> →修了する（した）学校が構造改革特別区法の認定を受けた 地域（長野県）に設置された職業能力開発短期大学校であ ることについて、出身学校が発行する証明書 ※出身学校に書式がない場合は、信州大学工学部ホーム ページから所定の様式をダウンロードし使用してくださ い。
7 (A 又は B)	(A) 在留カード又は 特別永住者証明書のコピー	△	△	<u>(A) 外国人志願者で日本在住の方</u> 外国人志願者で、日本在住の方は、在留カード又は特別永 住者証明書の両面コピーを提出してください。
	(B) パスポートのコピー	△	△	<u>(B) 外国人志願者で海外在住の方</u> 外国人志願者で、海外在住の方は、パスポートのコピー（氏 名、国籍、生年月日、性別が記載された部分）を提出してく ださい。
8	国費外国人留学生証明書	△	△	<u>国費外国人留学生の方</u> 出身学校が発行する証明書

④ 工学部ホームページから様式をダウンロードして準備する書類

	出願書類等	推薦	一般	摘 要
1	推薦書（厳封）	○	—	所定の様式をダウンロードし、出身学校長が作成し厳封し たものを提出してください。
2	志望理由書	○	○	所定の様式をダウンロードし、所要事項を黒か青のボール ペン又はインクで、手書き（楷書）で記入してください。
3	志望理由書（追加分）	女子枠	—	所定の様式をダウンロードし、所要事項を黒か青のボール ペン又はインクで、手書き（楷書）で記入してください。

【書類記入上の注意】

- ・ 学校長作成の書類以外は、原則志願者本人が作成してください。（病気・負傷や障害等のため記入が困難な場合は、保護者等が作成してください。）
- ・ 手書きの際は黒か青のボールペン又はインクを用いて、楷書で記入してください。
- ・ 様式中の※印欄は記入しないでください。
- ・ 誤って記入した場合は、誤った箇所に二重線を引き、訂正してください。

(4) 出願に際しての注意事項

- ① 入学検定料支払期間内に入学検定料が支払われないもの及び出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 受理した出願書類等の記載内容及び志望学科の変更は、認めません。
- ③ 受理した書類等は、一切お返しできません。本学が求める出願書類以外のものは添付しないでください。(一切返却しません。)
- ④ 建築学科においては面接時にポートフォリオ (A1 サイズ以下) の持参を認めます。受賞がある場合は、それを証明する書類の原本とコピー (提出用) を併せて持参してください。
- ⑤ 支払済みの入学検定料は、どのような理由があってもお返しできません。
なお、入学検定料を誤って二重に支払った場合又は支払ったが本学に出願しなかった (出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合は、本人の請求により支払われた入学検定料 (二重に支払った場合は重複して支払われた分) の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページをご覧ください。(入試情報ポータル/入学検定料返還手続 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)
- ⑥ 提出された書類等に虚偽の記載があった場合には、入学許可を取り消します。
- ⑦ 書類等の提出後、受信場所 (志願者連絡先) を変更した場合は、直ちに信州大学工学部入試事務室まで届け出てください。

6. 選抜方法等

(1) 推薦選抜 (一般枠・女子枠)

① 選抜方法及び配点

選抜は、出願枠ごとに行います。

学 科	選 抜 方 法	配 点
物質化学科	面接 (英語・化学の基礎学力に関する口頭試問を含む) 及び書類審査	100
電子情報システム工学科 水環境・土木工学科 機械システム工学科 建築学科	面接 (口頭試問を含む) 及び書類審査	100

② 採点・評価基準

学 科	評 価 の 要 点
物質化学科	学習意欲・積極性・活動性・将来性等の人物面、英語・化学の基礎学力、面接での表現力を評価
電子情報システム工学科	基礎学力 (英語・数学・専門科目) と積極性・将来性等の人物面を総合評価 専門科目は、電磁気学、回路基礎、情報基礎のいずれかを選択可 回路基礎の出題内容: 電気回路、電子回路、論理回路等 情報基礎の出題内容: プログラミング、データ構造とアルゴリズム等
水環境・土木工学科	学習意欲、積極性、基礎学力、課外活動を総合評価
機械システム工学科	目的意識、意欲、基礎学力 (質点系及び剛体の力学) 及び論理的思考力の高さを総合評価
建築学科	積極性や個性などの人物面、理数系学力、建築に対する関心の高さ及び学習や諸活動の履歴を総合的に評価

③ 合否判定基準

上記①の選抜結果により判定します。

女子枠に出願した場合、女子枠と一般枠の各枠で判定した結果、両方合格であれば女子枠としての合格とします。

(2) 一般選抜

① 選抜方法及び配点

学 科	選 抜 方 法 ※下段数字は配点の内訳			配点
物質化学科	面接（英語・化学の基礎学力に関する口頭試問を含む） 及び書類審査			100
電子情報システム工学科	学力検査（数学） 30	面接（口頭試問） 60	書類審査 10	100
水環境・土木工学科	面接（大学1年レベルの数学に関する口頭試問を含む） 及び書類審査			100
機械システム工学科	学力検査（数学） 60		書類審査 40	100
建築学科	スケッチ・面接 80		書類審査 20	100

② 採点・評価基準

学 科	評 価 の 要 点
物質化学科	学習意欲・積極性・活動性・将来性等の人物面、英語・化学の基礎学力、面接での表現力を評価
電子情報システム工学科	基礎学力（英語・数学・専門科目）と積極性・将来性等の人物面を総合評価 専門科目は、電磁気学、回路基礎、情報基礎のいずれかを選択可 回路基礎の出題内容：電気回路、電子回路、論理回路等 情報基礎の出題内容：プログラミング、データ構造とアルゴリズム等
水環境・土木工学科	学習意欲、積極性、基礎学力、課外活動を総合評価
機械システム工学科	数学の学力及び出願書類の内容を総合的に評価
建築学科	スケッチの能力に加え、積極性や個性などの人物面、理数系学力、建築に対する関心の高さ及び学習や諸活動の履歴を総合的に評価

③ 合否判定基準

上記①の選抜結果により判定します。

7. 試験日時及び試験場

(1) 試験日時

期日：令和6年6月7日（金） ※試験当日は、8：40までに集合してください。

選 抜 区 分	学 科	時 間	内 容 等
推薦選抜	全学科	9:00～	面接
一般選抜	物質化学科	9:00～	面接
	電子情報システム工学科	9:00～10:30	数学 出題範囲：微分積分（極限、1変数及び多変数関数の微積分）、線形代数（連立1次方程式、階数、逆行列、行列式、対角化）
		数学終了後	面接
	水環境・土木工学科	9:00～	面接
	機械システム工学科	9:00～10:30	数学 出題範囲：微分積分（極限、1変数及び多変数関数の微積分）、線形代数（連立1次方程式、階数、逆行列、行列式、対角化）
		9:00～10:00	スケッチ
建築学科	9:00～10:00	スケッチ	
	スケッチ終了後	面接	

(2) 試験場

長野市若里4-17-1 信州大学工学部 長野(工学)キャンパス

※ 受験の際には、必ず受験票を持参してください。

8. 受験に当たっての主な注意事項

(1) 受験票

① 受験票の発行

受験番号確定後、インターネット出願登録サイトからダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ受験番号確定のお知らせメールを送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。(白黒印刷可)

なお、印刷した受験票は、**試験当日に必ず持参**してください。

※ 受験番号確定のお知らせメールが出願期間後1週間を経過しても届かない場合は、速やかに信州大学工学部入試事務室に問い合わせてください。

② 受験票の保管

受験票は入学手続や入試情報開示請求に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

(2) 受験者心得

受験者心得では、「当日の持ち物」や「受験上の注意事項」等をお知らせします。試験日の前日までに、本学のホームページから<受験者心得>にアクセスし、印刷・熟読のうえ、**試験当日に必ず持参**してください。(入試情報ポータル/インターネット出願 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)

(3) 不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできません。また、すでに受験した本学のすべての教科・科目の成績も無効となります。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア インターネット出願登録サイトや出願書類・解答用紙へ故意に虚偽の登録・記入(本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど)をすること。

イ カンニング(試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。(試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。(11ページの「14. 障害等のある方の事前相談」を参照))

ク 試験時間中に使用を許可されたもの以外の用具を使用して問題を解くこと。

ケ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」等の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 上記①以外にも次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、使用を許可されたもの以外の用具、教科書、参考書、辞書等の書籍類等をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信、アラーム、振動音など)を長時間鳴らすなど、試験

の進行に影響を与えること。

- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9. 合格発表

令和6年6月25日（火）14時

同日中に合格者に対し合格通知書を、推薦校宛に合否文書を発送します。（不合格の方には通知しません。）
また、本学のホームページ（入試情報ポータル https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）に合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

10. 入学確約書の提出

合格者は、令和6年7月9日（火）17時までに、「入学確約書」（用紙は合格通知書に同封します。）を提出してください。

なお、入学確約書を提出されない方は、本学に入学の意志がないものとして取り扱います。

11. 入学手続

入学手続に必要な提出書類については、入学確約書を提出した方に対し、令和7年2月中旬頃に改めて通知いたします。

（1）入学手続期間

令和7年3月3日（月）～令和7年3月10日（月） 締切日の17時までに必着

※原則郵送とします。ただし、郵送による提出が難しい場合は、持参による提出を受け付けます。

持参による受付は、8時30分から17時までとし、土曜日及び日曜日は受け付けません。

（2）納付金の納入等

① 初年度納付金（入学金・授業料）の額

ア. 入学金 282,000円

イ. 授業料（前期・後期）各267,900円〔年額 535,800円〕

（注）金額は令和5年4月現在の額です。入学時及び在学中に入学金及び授業料が改定された場合には、改定時から新入学金及び新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、入学手続書類送付時に通知します。

② 既納の入学金は、どのような理由があってもお返しできません。

③ 入学金・授業料の納入が著しく困難な方には、経済支援の制度を設けています。詳細は本学の学生総合支援センターホームページ（https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentssupport/）を確認してください。申請方法については入学手続書類を参照してください。

（3）手続に当たっての注意事項

① 入学手続書類を受領したら、速やかに入学手続を行ってください。入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものとして取り扱います。

② 推薦による選抜において入学しなかった場合、その事情によっては、翌年度以降当該学校長からの推薦を受理しないことがあります。

③ 令和7年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験し合格した方が、所定の要件を満たすことができなかった場合には、入学を許可いたしません。

(4) 学科からの諸連絡

入学者には、授業等で常時携帯して使用するために各学科で指定したノート型パソコンを入学時に準備していただいています。

購入手続及びパソコンの仕様等詳細については、入学確約書を提出した方に対し令和7年2月送付予定の入学手続書類に同封いたします。

12. 追加合格

入学確約書提出締切後、及び入学手続締切後に募集人員に欠員が生じた場合には、令和7年3月14日(金)までの間に、合格者を追加することがあります。

13. 編入学前の既修得単位の認定等

(1) 信州大学工学部では、編入生が編入学以前の高等教育機関で修得した科目の単位を、提出された成績証明書とシラバスを基に確認し、それを本学部で履修すべき科目と対応させ、信州大学工学部規程に基づいて審査し、所定の基準を満たす科目を認定します。

なお、合格した場合は入学手続時に、在籍時のシラバスを提出していただきます。

(2) 編入生については、本学の修業年限のうち2年間に既に在学したものとして取り扱い、編入学後の在学期間は2年以上、4年以内となります。

14. 障害等のある方の事前相談

この募集要項により本学に入学を志願する方で、障害(別表参照)等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に事前相談申込書等を提出してください。

なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

事前相談がない場合には、入学後の配慮が十分に行えない場合がありますので、修学上の配慮のみが必要な方も必ず事前相談を行ってください。

※ 事前相談申込書は、本学のホームページからダウンロードいただけます。

(入試情報ポータル/障害等のある方の事前相談 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)

(注) 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの措置が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

(1) 提出期限

令和6年4月18日(木)

(2) 提出書類

① 本学所定の事前相談申込書

② 病気・負傷や障害等の状況がわかる医師の診断書(コピーでも可)又は障害者手帳のコピー

※ ①②は、配慮内容を決定する上で必要となりますので、必ずご提出ください。

※ 必要に応じて、志願者又は関係者等との面談を行う場合があります。

(3) 提出先及び問い合わせ先

信州大学工学部入試事務室 〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1 TEL 026-269-5055

(4) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

不慮の事故等により配慮が必要となった場合等については、提出期限を過ぎてからも相談を受け付けますが、相談の内容によっては対応できないことがあります。

[別表]

区分	障害の程度
視覚障害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
発達障害	自閉スペクトラム症(自閉性障害・アスペルガー障害・広汎性発達障害)、限局性学習症(学習障害)、注意欠如多動症(注意欠陥多動性障害)のため配慮を必要とするもの
病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
その他	上記以外で、受験上及び修学上の配慮を必要とする程度のもの

(参考：学校教育法施行令第 22 条の 3、発達障害者支援法第 2 条、大学入学共通テスト受験案内)

15. 個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

- 入学手続
- 学籍管理
- 修学指導
- 学生支援関係業務
- 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究
- 出身学校長への合否の通知

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

16. 入試情報の開示

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。(面接の内容は開示しません。)

(1) 志願者数、受験者数、合格者数

開示方法：信州大学工学部ホームページ

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/undergraduate/#sec2>)

開示時期：令和 6 年 8 月以降(予定)

(2) 数学

開示内容：①出題意図

②試験問題

開示方法：信州大学工学部ホームページ

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/undergraduate/#sec2>)

開示時期：令和6年8月以降（予定）

(3) 個人情報

試験成績

・推薦選抜……総合点

・一般選抜……総合点

① 請求者：受験者本人

② 開示方法：郵送

③ 受付期間：令和7年5月7日（水）～5月13日（火）必着

④ 開示時期：令和7年5月下旬

⑤ 請求方法：

「入試情報開示請求願」に所要事項を記入し、開示請求先に郵送してください。

なお、「入試情報開示請求願」は、信州大学工学部ホームページからダウンロードしてください。

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/undergraduate/#sec2>)

※ 受験者本人であることを確認するとともに、受験番号を照合するため、受験票を必ず添付してください。

※ 返信用封筒[長形3号(120mm×235mm)に郵便番号、住所、氏名を明記し、特定記録料金を含む金額分の切手を貼ったもの]を同封してください。

⑥ 開示請求先：〒380-8553 長野市若里4-17-1

信州大学工学部入試事務室 TEL 026-269-5055

17. 工学部第3年次編入学試験実施状況

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
募集人員	20	20	20
志願者数	119 (28)	117 (17)	133 (26)
合格者数	38 (9)	37 (9)	39 (11)

() 内の数は女子の内数

18. インターネット出願について

信州大学では、インターネットを利用した出願方法を導入しています。

(入試情報ポータル/インターネット出願 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)

インターネット出願登録サイトでは、出願登録のほか、受験票、出願確認票等の印刷なども行います。登録後にアクセスする必要がありますので、登録したメールアドレスとパスワードを記録しておいてください。

次のページからの「インターネット出願の流れ」を参照し、出願手続を行ってください。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP
1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。学生募集要項を本学ホームページからダウンロード・印刷し、よく読んでうえで出願登録を行ってください。出願書類等※は、発行までに時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類等…調査書、顔写真データ、大学入学共通テスト成績請求票など、選抜によって異なります。詳細は学生募集要項を参照してください。

STEP
2

インターネット出願登録サイトにアクセス

インターネット出願登録サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/shinshu-u/>

または、
大学ホームページ(入試情報ポータル) ▶ https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/
からアクセス

STEP
3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると
出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンを
クリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

※「大学入学共通テストの受験教科・科目」は新課程履修者と旧課程履修者では選択できる科目が異なります。学生募集要項を確認してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥出願内容の確認
出願確認票宛名シート(サンプル) ボタンを
クリックすると出願確認票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願確認票PDF
(イメージ)
※検定料支払後に出力可能となります。

入学検定料の支払方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払方法の選択後に
表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたは
ペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい
出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。入学検定料支払い後に(ただし出願書類等の提出前に限る)、入試区分、志望学部・学科・
コース等、個別試験選択科目、試験場を修正する場合は、新規でSTEP4以降の手続きを行ってください。誤って登録したものについては、入学
検定料返還が可能です(詳細は学生募集要項参照)。

それ以外の項目を修正する場合は、STEP6で印刷した出願確認票の「訂正あり」にチェックを入れたうえで、用紙に赤字で訂正記入してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

※支払期限は、申込日を含め4日間です。(締切が4日より短い場合、締切が優先されます)

※入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は志願者負担となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON

MINI STOP



マルチコピー機

あなみちコンビニ、

FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

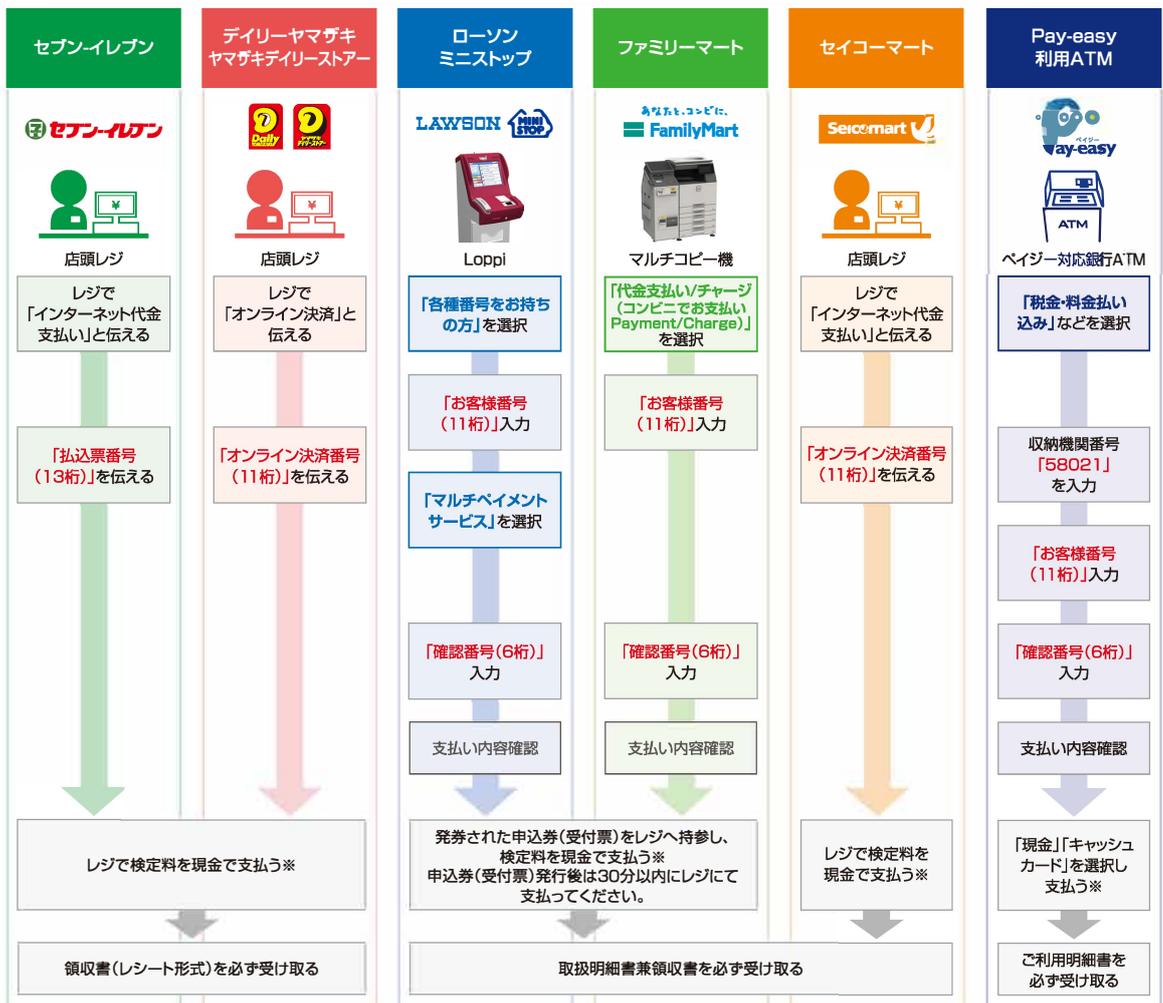
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



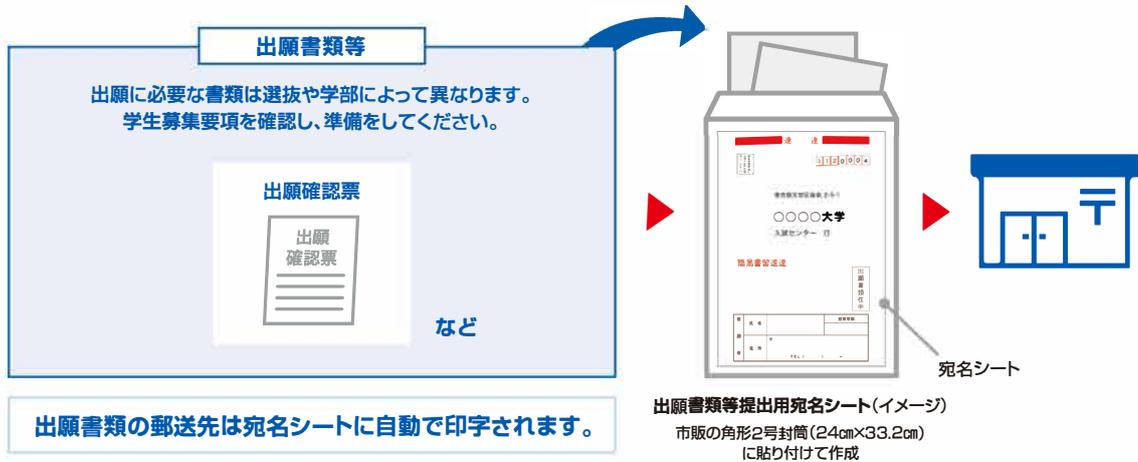
※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。
*画面ボタンのデザインや支払い手順などは予告なく変更となる場合があります。

STEP

6

出願書類等の印刷と郵送 **登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。**

出願登録、入学検定料の支払後に出願確認票、宛名シートを印刷し、その他の出願書類等と併せて出願期間内に郵送してください。



「出願確認票・宛名シート」の印刷方法



- (1) マイページに表示された **出願確認票・宛名シート(印刷)** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **出願確認票・宛名シート(印刷)** のボタンがクリックできるようになり出願確認票の出力ができます。

※一旦受理した検定料・出願書類は、学生募集要項で明記している理由によるものを除きお返しできません。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願登録サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類等を郵送して完了となります。登録が完了しても出願期間内に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

出願期間は学生募集要項をご確認ください。なお、インターネット出願は24時間可能です。

STEP

7

受験票の印刷

受験番号確定後にインターネット出願登録サイトのマイページからダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ受験番号確定のお知らせメールを送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。印刷した受験票は、**試験当日に必ず持参**してください(※郵送はしません)。

【印刷に関する注意事項】

受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**してください。(白黒印刷可)
印刷用紙はA4サイズ縦の両面無地の白の用紙を使用してください。



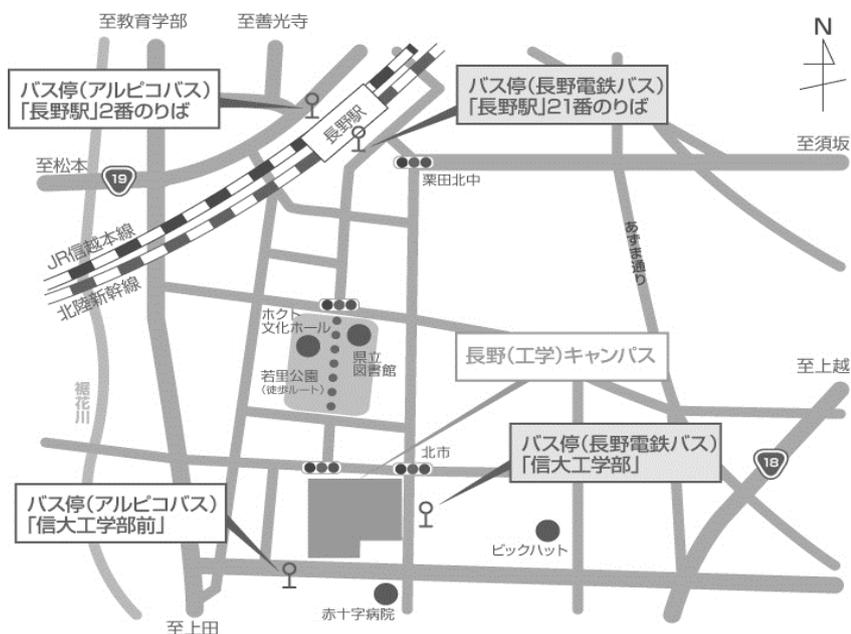
お問い合わせ

インターネット出願登録サイト及び操作に関するお問い合わせ

■「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター(運用会社:株式会社ディスコ)

TEL:0120-202079(出願期間は24時間対応)

信州大学工学部試験場への交通案内



■長野電鉄バス利用の場合

JR 長野駅東口 21 番のりばで、長電バス「日赤線」に乗車（5 分）、バス停「信大工学部」で下車。（土休日運休）

■アルピコバス利用の場合

JR 長野駅善光寺口 2 番のりばで、アルピコバス「日赤経由大塚南行き」「松岡行き」「ビッグハット行き」のいずれかに乗車（8 分）、バス停「信大工学部前」で下車。

■徒歩

JR 長野駅東口から、徒歩 20 分

キャンパス内の詳細マップは WEB で

発行： 信州大学 工学部 入試事務室（令和 6 年 2 月）

〒380-8553 長野市若里 4-17-1 TEL (026) 269-5055
<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>

